



## 平成22年度診療報酬改定(案)が発表されました

2月12日、平成22年度診療報酬改定についての中医協の答申が発表されました。

病理診断料の項目に「病理診断科を標榜する診療所」である我々にとって、注目すべき改正点が盛り込まれておりましたので、ご紹介いたします。3月上旬に発表される改定内容が待たれます。

## 第2章特掲診療料

## 第13部病理診断

## 第2節病理診断・判断料

## 一部抜粋

項目	現行	改正案
N006 病理診断料 【項目の見直し】 【注の見直し】	410点 注1 病理診断を専ら担当する医師が勤務する病院である保険医療機関において、区分番号N000に掲げる病理組織標本作製、区分番号N001に掲げる電子顕微鏡病理組織標本作製、区分番号N002に掲げる免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製若しくは区分番号N003に掲げる術中迅速病理組織標本作製により作製された組織標本に基づく診断を行った場合又は当該保険医療機関以外の保険医療機関で作製された組織標本に基づく診断を行った場合に、これらの診断の別又は回数にかかわらず、月1回に限り算定する。 注2 当該保険医療機関以外の保険医療機関で作製された組織標本に基づき診断を行った場合は、区分番号N000に掲げる病理組織標本作製、区分番号N001に掲げる電子顕微鏡病理組織標本作製、区分番号N002に掲げる免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製若しくは区分番号N003に掲げる術中迅速病理組織標本作製(1手術につき)は別に算定できないものとする。	1 組織診断料 500点 2 細胞診断料 240点 注1 病理診断を専ら担当する医師が勤務する病院又は <b>病理診断を専ら担当する常勤の医師が勤務する診療所</b> である保険医療機関において、区分番号N000に掲げる病理組織標本作製、区分番号N001に掲げる電子顕微鏡病理組織標本作製、区分番号N002に掲げる免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製若しくは区分番号N003に掲げる術中迅速病理組織標本作製により作製された組織標本に基づく診断を行った場合又は当該保険医療機関以外の保険医療機関で作製された組織標本に基づく診断を行った場合に、これらの診断の別又は回数にかかわらず、月1回に限り算定する。 (注2は省略) 注3 当該保険医療機関以外の保険医療機関で作製された標本に基づき診断を行った場合は、区分番号N000からN004に掲げる病理組織標本作製料は、別に算定できない。

病理診断科としての保険請求が認められてはおりますが、病理標本を作製する施設によって算定の有無が決まるなど不合理な点も見られます。各方面でのさらなる改善が必要であると考えております。

## What' new

2月17日  
研修にいらしている阿南隆先生(写真上)と、中村考伸先生(写真下)のお誕生日をお祝いしました。研修中の良い思い出となってくれればと思います。どうぞ幸せな1年となりますように・・・。



## 京滋難治性皮膚疾患研究会 講演

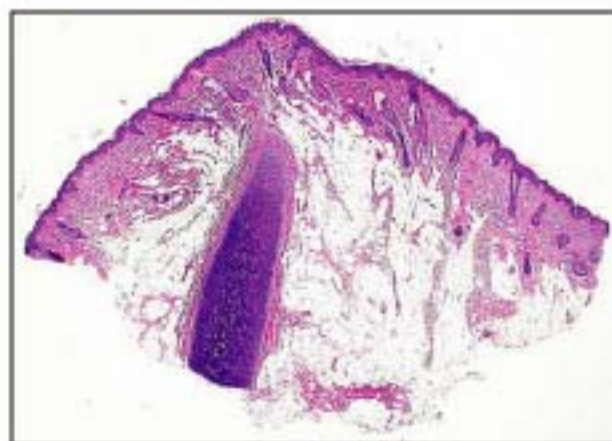
1月31日

京都市のウエスティン都ホテルにて、「角化異常症・角化症」をテーマに第12回京滋難治性皮膚病理解疾患研究会が開催され、講演を行いました。

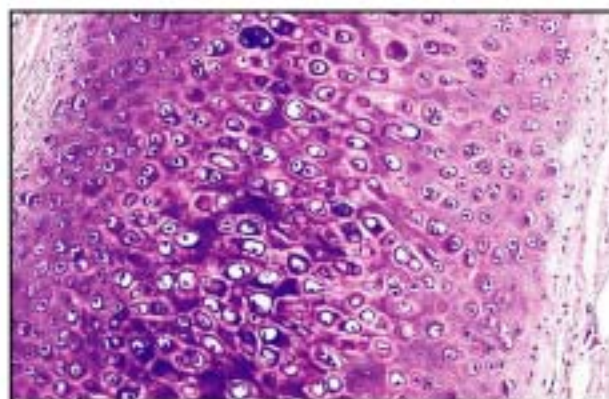
世話人でもいらっしゃる京都大学皮膚科 高橋建造先生のミニレクチャーの後、「角化異常をともしなう疾患」と題した特別講演をいたしまして、Darier病、脂漏性角化症などの棘融解性異常角化症や、水疱性先天性魚鱗癬様紅皮症、表皮母斑などの表皮溶解性角化症/顆粒変性を重点とした講演をいたしました。

症例検討会も行われ、非常に充実した有意義な研究会となりました。





皮下脂肪に軟骨組織を伴う隆起性病変がある。



成熟した軟骨組織が主病変を形成している。

セミナー情報

札幌皮膚病理

検索

参加受付開始!

◆◆ 第1回皮膚手術のための皮膚病理講座 札幌 ◆◆

手術切開されることの多い良性と悪性の皮膚腫瘍の病理組織所見を中心に解説し  
手術方法や切除範囲を考える為の情報を提供いたします。

日時：5月15日(土) 16日(日) 会場：北海道大学 学術交流会館 第3会議室

◆◆ 第11回皮膚病理講座・基礎編 東京開催 ◆◆

◆◆ 第12回皮膚病理講座・基礎編 神戸開催 ◆◆

皮膚病理に必要な基礎知識(正常組織、臨床・病理用語)と、

各種皮膚疾患の病理組織像を「あたらしい皮膚科学」(清水宏著)に準拠して解説する。

東京会場 日時：6月12日(土) 13日(日) 会場：日本医科大学 教育棟1階講堂

神戸会場 日時：7月18日(日) 19日(月祝) 会場：神戸大学

◆◆ 第1回皮膚軟部腫瘍アトラスセミナー 東京開催 ◆◆

軟部腫瘍と皮膚腫瘍のWHO分類に準拠し、これに末しょう神経腫瘍や種々の皮膚固有の病変を加えて、  
皮膚および皮下組織に出現する可能性のある病変を可能な限り掲載した「皮膚軟部アトラス」を用いて  
開催いたします。本セミナーでは全執筆者を講師に迎え、より具体的に丁寧に解説致します。

日時：9月19日(日) 20日(月祝) 会場：未定

「皮膚病理診断への第一歩」

◆◆ 第3回皮膚病理講座・診断編 東京開催 ◆◆

各種皮膚疾患の病理組織像を理解する。

皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断のてがかり、そして鑑別診断を具体的に把握する。

「絵あわせ診断法」のために必要な病理組織像を覚え、「パターン分類とアルゴリズム分析診断法」を理解する。

日時：10月10日(日) 11日(月祝) 会場：未定

◆◆ 第1回開業医のための皮膚病理講座 札幌 ◆◆

日時・会場：未定 詳細：未定

参加申し込みはこちらから <http://www.ackermansidp.jp>

発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842

e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com> 編集担当：高野 敦子